

評価項目・配点および視点

評価項目	配点	評価の視点
1 本業務に対する方向性と考え方	25	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜開港資料館及び当財団の目的・活動に対する認識 ①博物館・文書館としての施設の役割への理解・認識の有無 ②歴史をつうじたふるさと意識の醸成への理解・認識の有無 ・「拠点計画」および文化観光に対する認識 ③拠点計画の内容面での理解・認識の有無 ④博物館法改正や文化観光(サイクル)に対する理解・認識の有無 ・本業務に対する基本的考えは適切か。 ①～④を踏まえて提案をしているかどうか
配点(25点) 25:極めて優れている 20:優れている 15:標準 10:やや劣っている 5:劣っている		
2 サービス向上と効率的な運営に向けた具体的提案	50	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップ(商品ラインナップを含む)について ①単なる横浜土産の取扱にとどまっていないか ②館の特徴を捉えた提案があるか ・カフェについて ③単なる横浜土産取扱にとどまっていないか ④館の特徴を捉えた提案があるか ・コンシェルジュ業務について ⑤単なる観光案内所機能にとどまっていないか ⑥拠点計画に基づく上質な機能の新たな提案はあるか ・集客・収益の向上について ⑦文化観光のサイクルを実現する提案があるか ⑧集客や収益の目標について具体的な提案があるか ・提案者の強みをいかした取組について ①～⑧について提案者の強みを活かした内容があるか
配点(50点) 50:極めて優れている 40:優れている 30:標準 20:やや劣っている 10:劣っている		
3 本業務の実施体制	20	<ul style="list-style-type: none"> ・従事者数、経験・能力(取得資格等)、雇用形態等 ①担当者およびスタッフの配置は適切かどうか ②機能を達成するための経験・能力や取得資格がしめされているか ・業務担当者についての具体的提案 ③機能を達成する為に必要な担当者の提案が適切にされているかどうか ・人員配置とローテーション(勤務時間、休憩・休暇の与え方等)の具体的提案 ④施設運営上、適切な勤務時間や休暇取得、シフトが考えられているか ⑤労働者の雇用に関するコンプライアンスの記載があるか ・法人本体の支援体制 ⑥通常時の法人本体と現場間での支援体制が示されているか ⑦緊急時の法人本体の支援体制が示されているか
配点(20点) 20:極めて優れている 16:優れている 12:標準 8:やや劣っている 4:劣っている		
4 本業務遂行に関するシステム等	15	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な来館者への対応システム・仕組み(ユニバーサルデザイン・意見の申し出時等)は充分か。 ①具体的な記載の有無 ・事故予防対策、事故や急病人・負傷者発生時等の緊急事態発生時のシステム・仕組みは充分か。 ②具体的な記載の有無 ・従事者間の情報連絡・情報共有のためのシステム・仕組みは充分か。 ③具体的な記載の有無 ・研修についての具体的提案(内容、頻度等)は適切か。 ④具体的な記載の有無 ・業務運営マニュアル案(目次のみで可)は適切か。 ⑤業務担当者および業務スタッフの各業務および①～④がマニュアルにまとめられているかどうか。
配点(15点) 15:極めて優れている 12:優れている 9:標準 6:やや劣っている 3:劣っている		
合計	110	

参加者が一者だけのみの場合、審査の結果、評価点が70%以上の得点を獲得し、業務を適切に実施できると判断された場合、当該参加者を候補者とする。